



「相手の話を聞くこと」

火曜日の全校集会で教頭の栗山先生が前号で紹介したオシエルズさんの言葉を取り上げて話をしました。以下、その内容をお知らせします。

オシエルズさんの言葉

「みんなにすごく大事なことを言います。どんなに話ができても、どんなに面白いことができて、話を聞ける人でないとだめです。人が発表しているときは、立ち回ったり話をしたりせず、発表している人を応援してください。誰かが発表するときは、自分がしたいことをやめて応援する。これからみんなが大人になるときにそれはすごく大事になる。」

この話にはポイントが2つあります。1つめは、「人の話を聞くことの大切さ」です。これは、みんなが小さなころから言われていることなので当たり前のことだと分かっていると思います。

2つめは、「このことが大人になるときにすごく大事になる」ということ。もっと言うと、当たり前だと思っていることをきちんとできるか。オシエルズさんが言っているように、「自分がしたいことをやめて、相手の話を聞けるか」ということです。

高尾小学校では、人の話を聞くことの大切さを理解して、きちんと聞くことができるようになっていく人が増えています。大人に近づいているということです。まさに自律の姿です。

また、人の話をきちんと聞くことは、相手を大切にする、相手の気持ちを理解する、そして相手と協力することにつながります。まさに共生の姿です。

「聞く」ということを大切に実践することで、高尾小学校の学校目標である自律と共生の達成つなげましょう。

高尾小学校 校長 原口徹弥